

トピックス

・ 神崎、高井両教授が受賞 日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員表彰

独立行政法人日本学術振興会（JSPS）が実施している「特別研究員等審査会専門委員（書面担当）」の表彰者発表が8月1日行われ、本学から神崎浩環境生命科学研究所長・教授と高井和彦自然科学研究科教授の2人が選ばれました。今回、表彰対象となる任期2年目は約900人で、計83人が選ばれました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3749.html

・ 事業実施機関として本学から3課題採択予定 経済産業省「医工連携事業化推進事業」

経済産業省の「医工連携事業化推進事業」に8月1日、事業実施機関として本学から3課題が採択されました。本事業は、日本が誇る「ものづくり技術」を活かした開発・実用化を推進することで、国内の医療機器産業の活性化と医療の質の向上を実現しようとするものです。今回、136件の応募の中から18件が採択予定となり、そのうちの3件は本学が事業実施機関となります。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3751.html

・ 文部科学省の「課題解決型高度医療人材養成プログラム」に採択

文部科学省が本年度から開始した「課題解決型高度医療人材養成プログラム」（26件採択）に、本学が申請した「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」が採択されました。本学を中心に、北海道大学、金沢大学、大阪大学など、計11校による連携で実施します。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3750.html

最近の大学の取組

・ 本年度の「若手職員塾」スタート

大学の発展を担う大学職員の役割を考え、実践する力を養成しようと、本学は7月18日、「平成26年度 岡山大学若手職員塾」をスタートさせました。20、30代の18人が受講。本学地球物質科学研究センターの高橋伸二事務長が講演しました。若手職員塾は、12月までにプレ回を含む計7回のプログラムで実施します。今年で3年目を迎え、延べ41人が受講しています。



参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3710.html

・ 東京支部を設置 岡山大学 Alumni（全学同窓会）

本学の全学同窓会「Alumni（アラムナイ）」の東京支部が7月25日、発足しました。事務局は、本学東京サテライト・オフィス（東京都中央区）に設置。会員同士の交流や首都圏への就職を目指す学生へのサポートなどを展開します。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3716.html

・ 「おかやま Study Tour」開催

地域総合研究センターは7月12日、留学生が日本人学生と一緒に後楽園と岡山城を巡り、魅力や改善点を話し合う「おかやま Study Tour」を開催しました。留学生、日本人学生、ボランティア・スタッフら計49人が参加。5チームに分かれ、説明案内の表示内容や施設の利便性を確認するなど、熱心に視察しました。

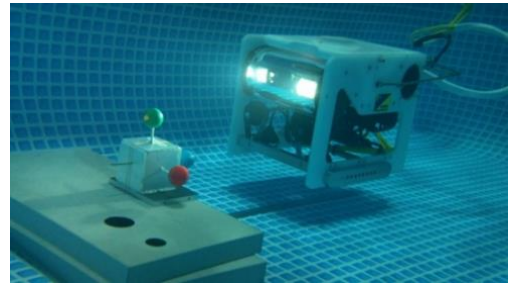


参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3732.html

最近注目の研究

・水中ロボット「MOS/AUV（ももたろう岡大1号）」開発

大学院自然科学研究科の見浪護教授の研究グループは、広和株式会社（廣安雅美社長）の協力を得て、「長時間潜航/作業対応自律制御型水中ロボット MOS/AUV（ももたろう岡大1号）」の開発に成功しました。本ロボットは、本学が開発したロボット制御知能 MOS（Move on Sensing）を搭載。自動給電による長時間の自律化連続運転/作業が行えることから、長期間連続航行を要する海底資源探査・回収や海中未確認生物の生態調査のほか、高級魚等海産物の栽培漁業・中間育成や機雷掃海、人命救助（ライフセーバー）等への利用が期待されます。



参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id217.html

・ラベンダー精油でマウスの喘息症状軽減

大学院保健学研究科検査技術科学分野の飯尾友愛助教、柴倉美砂子准教授、片岡幹男教授らの研究グループが、アロマセラピーに用いられるラベンダー精油にマウスモデルの喘息症状を軽減する作用があることを世界で初めて明らかにしました。本研究成果は2014年6月5日、アメリカの総合科学雑誌『Life Sciences』に掲載されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id216.html

・DNA増幅後15分間でイチゴの品種を判定

大学院環境生命科学研究所ゲノム遺伝解析学分野の田原誠教授、門田有希特任助教らの研究グループが、実際の検査現場（税関検査や農作物・食品の製造、輸出入現場など）で使える農作物（イチゴ）の品種判定技術を開発しました。本研究グループは、「STHクロマトPAS法」という今までにない新しい方法を用いた簡易判定法を世界で初めて導入。この手法を用いることで、検査の作業が極めて迅速・簡便化されます。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id219.html

学生の活躍

・本学医学部生が活躍 日本医学教育ポスター発表など

医学部6年山下大輔さんが、「第46回日本医学教育学会大会」（7月18日、19日、和歌山県）でクリニカル・クラークシップ（参加型臨床実習）に関するポスター発表を行い、「学生セッション優秀演題賞」を受賞しました。翌日行われた「第一回メディカルシミュレーションオリンピック（シムリンピック）2014」には、本学医学部6年平岡伸也さんら3人が参加。6種類の模擬医療現場で、診察技術などを競い合いました。全国11大学12チーム（1チーム3人）中、個別競技の救急蘇生部門で第1位を獲得。総合成績は4位と健闘しました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id3745.html

行事予定

- ・岡山大学資源植物科学研究所創立100周年記念シンポジウム 10月3日（金）倉敷市芸文館
- ・岡山大学ホームカミングデイ2014 10月18日（土）岡山大学津島キャンパス 他

岡山大学は、以下のページでも情報を発信しています

- ・岡山大学公式ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/>
- ・岡山大学 Facebook ページ <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>
- ・岡山大学 Twitter https://twitter.com/okayama_uni
- ・岡山大学チャンネル <https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos>

【お問合せ先】 岡山大学総務・企画部 企画・広報課

Tel : 086-251-7293, 7292 Mail : www-adm@adm.okayama-u.ac.jp